

よく食べる 駆除予防 シロアリの巣 撃滅

駆除効果約1年持続

シロアリの巣撃滅の6つの特長

- 1 使い簡単** 置くだけ! 埋めるだけ! 貼るだけ!
- 2 駆除&発生予防**

巣まで駆除し 翌年の発生を防ぐ (ヤマトシロアリ)
- 3 取り替えの手間が少ない**

駆除効果は約1年持続し何度も取り替える必要がなくラク (シロアリの被害の進行度合や使用環境によって効果が短くなる場合があります)
- 4 人やペット(ほ乳類)にやさしい**

昆虫にのみ効く有効成分を使用 (昆虫の脱皮を阻害する)
- 5 環境にやさしい**

設置するだけで駆除できるので大量に薬剤を散布する必要がない
- 6 土壌にやさしい**

有効成分は水に溶けないため流れ出て土を汚す心配がない

シロアリの生態を研究した容器

- 1 シロアリは地面の中を移動する**

→ 生息域に届くロングスティック形状 地面下にいるシロアリの遭遇率アップ
- 2 シロアリは目が見えず行きあたりばったりでエサを見つける**

→ どこからでも入りやすいホィホィスリット どの方向から来てもエサの部分に入りやすい侵入口配置
- 3 シロアリは暗い場所を好む**

→ シロアリが安心する容器色 臆病なシロアリも警戒しにくい
- 4 シロアリは噛みつきやすいエサを好む**

→ よく食べるハニカム構造 シロアリが好みどこからでも噛みつけるエサ (バルブ仕様)

シロアリの巣ごと駆除するメカニズム

- 1 働きアリがエサ(容器)を見つける**
 - 2 仲間にエサ(容器)の場所を知らせる**
 - 3 さらに仲間がどんどん集まりエサ場から巣までの道(蟻道)ができる**

蟻道とは: エサ場から巣までの道
 - 4 働きアリはエサを巣の中の兵隊アリや女王アリにも分け与えている**
 - 5 エサを直接食べた働きアリは脱皮できなくなり死んでしまう**
 - 6 エサを運んでもらえなくなった巣の中の他のアリは餓死し、同様に兵隊アリや女王アリもエサを与えられず死んでしまう**

巣まで駆除
- ⚠ 巣の駆除には3ヵ月から長い場合は1年程度かかります。

シロアリとクロアリの違い

- 1 シロアリとクロアリは仲間?**

シロアリはゴキブリ目に属しゴキブリの仲間です。一方、クロアリはハチ目でハチの仲間です。シロアリもクロアリも見た目は似ていますが全く別の昆虫です。
- 2 シロアリの子供はシロアリ?**

シロアリは幼虫も成虫によく似た体をしています(不完全変態昆虫)。一方、クロアリの幼虫はウジのような体をしています(完全変態昆虫)。
- 3 シロアリは草食系?**

シロアリは主に植物の繊維質を好み木材や地衣類などを食べます。一方、クロアリは基本的には肉食系(雑食系)です。
- 4 シロアリの女王は大きい?**

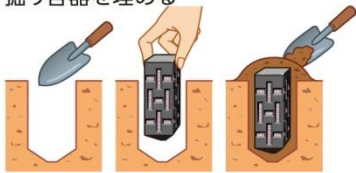
シロアリの女王は働きアリに比べて3~5倍ほど大きいです。一方、クロアリの女王は働きアリに対して一回り大きい程度です。

基本的な設置方法

シロアリの種類による効果的な設置方法

1 埋める

お手持ちのスコップ等で、シロアリを見つけた付近の土を10~15cmほど掘り容器を埋める



2 貼る



被害場所を見つけた場合は粘着テープ等で直接貼り付ける。

蟻道がある場合は蟻道を少し崩し、崩した部分に貼り付ける。

直射日光が当たらないようにするとシロアリが容器に入りやすくなる。

3 置く



埋められない場所では被害場所や蟻道付近に置く。軽く土をかけて埋めるとシロアリが容器に入りやすくなる。

主な使用場所例



※ 台所や風呂場など水場付近の屋外に設置することをおすすめします。

●ヤマトシロアリ

種類	成虫	
	羽アリ 5月ごろ発生	
生息域	ほぼ全国 (北海道の一部を除く)	



生態	<ul style="list-style-type: none"> ●水の運搬能力はないので湿った木材に住みつく。 ●屋内への被害は浴室や台所の床下など湿気が多い場所に集中。 ●あまり食欲旺盛ではなく加害は緩慢。
加害速度:遅い	活動範囲:狭い
加害形態	<p>★: 加害場所</p> <p>加害場所は巢の近くであることが多い</p>

【羽アリを見かけた場合】

▶発生した場所の周りに1~2m間隔で複数力所埋める(4本程度)



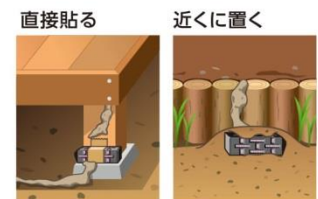
【シロアリを見かけるが被害場所が分からない場合】

▶被害にあいたくない場所やシロアリを見かけた付近に複数力所埋める



【被害場所が分かっている場合】

▶2~4個設置する
そばに埋める



●イエシロアリ

種類	成虫	
	羽アリ 6~7月ごろ発生	
生息域	関東~九州沿岸部 (日本海側を除く)	



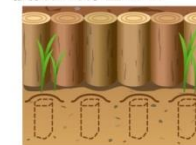
生態	<ul style="list-style-type: none"> ●水の運搬する能力が高く、活動範囲が広い。 ●大きな巣を作り、地下道から屋内へ被害を及ぼす。 ●食欲旺盛で急速に被害が広がる。
加害速度:速い	活動範囲:広い
加害形態	<p>★: 加害場所</p> <p>加害場所と巣が離れている</p>

【羽アリを見かけた場合】

▶シロアリの巣が大きくなり相当被害が進んでいると考えられますので、専門業者への相談をおすすめします。

【シロアリを見かけるが被害場所が分からない場合】

▶被害にあいたくない場所やシロアリを見かけた付近に複数力所埋める



【被害場所が分かっている場合】

▶4~8個設置する
(イエシロアリは巣が大きいので数多く設置すると効果的です。)
そばに複数力所埋める



! イエシロアリは容器を設置することで密度を減らすことはできませんが、巣の根本的な駆除は難しいです。屋内で見かけた場合は巣が巨大になっていることがありますので、専門業者への相談をおすすめします。